

学校教育目標：ふるさとを誇りとし、志高く、未来をたくましく切り拓く越ヶ浜っ子の育成

【校訓】

至誠 躍動 創造

かけはし



令和4年度萩市立小中一貫教育校 越ヶ浜中学校 学校だより

R4.11.4

【文化祭を終えて】

セレモニー進行班によるオープニング「熱血越中テレビ～協心戮力～」で幕を開けた今年の越中文化祭。観客のみなさんの期待にこたえるように、ステージでは大変見ごたえがある発表が続きました。当日は保護者やご家族の方に本校の文化祭をご観覧いただき、本当にありがとうございました。

制作展示班は縦2.8メートル、横3.6メートルの巨大モザイクアートを完成させました。A4用紙195枚を使った力作です。赤、青、緑など8種類の色で作られた作品は素晴らしいできばえとなりました。今年のテーマは「和船」。コロナ禍でしばらく中止になっていた和船体験ですが、今年は和船教室という形で実施することができました。制作過程の紹介や除幕セレモニー、メンバー紹介もあり、とても充実した内容になっていました。

1年生の学習発表のテーマは「福祉体験学習」です。1年生はこれまでにサロン交流、アイマスク体験、認知症サポーター中学生養成講座、椿の郷訪問、萩総合支援学校との交流学习などに取り組み、福祉について学びを深めてきました。文化祭では学習の成果を堂々とした態度で発表することができました。「福祉体験学習」を行うことで、生徒は社会の一員として思いやりの気持ちをもって行動することの大切さを再認識することができました。

2年生は職場体験学習での経験を踏まえ、一人ひとりが「立志のことば」を力強く宣言しました。「進取果敢」「愚公移山」「勇往邁進」「誰にでも頼られる人」「頼られ信頼・尊敬される人」「他人のために動ける人」は、生徒が掲げた「立志のことば」です。萩市の誇りである吉田松陰先生は「志定まれば、気盛んなり」という名言を残しています。これは「目標への気持ちが志としてはっきりすれば、自ずとやる気や意欲が生じる」という意味です。志を立てた2年生の今後のさらなる活躍が楽しみです。

「越中プロジェクト～ふるさとに学び、未来を考える～」と題して、3年生は越ヶ浜の魅力や課題について考えたことを発表しました。1学期に保護者や地域の方にご協力いただいたアンケート結果をもとに、生徒は「コミュニティ」「観光・伝統文化」「自然」の3つの班に分かれて探究活動を進めました。学校でのインタビュー活動や現地を訪れての活動、地域学校協働活動推進員の方のご支援等を通して、生徒は越ヶ浜の皆様の温かさにつれ、地域への愛着を深めることができました。加えて、地域の人とのつながり、地域の観光スポットや伝統、自然を大切にしたいという気持ちをより一層高めることができました。ふるさと学習の活動にご協力いただきました保護者や地域の皆様に、心から感謝申し上げます。



1年発表



2年発表



3年発表



【文化祭～展示作品～】

展示作品も創意工夫にあふれ、見事な作品ばかりでした。今年度は国語科の作品（習字・短歌・俳句）、理科の自由研究、美術科の平面作品や立体作品、家庭科の作品（朝ごはんメニュー・くまのぬいぐるみ・手作り絵本）、有志企画、萩総合支援学校の生徒作品などが展示されました。休憩時間には多くの方がじっくりと作品を鑑賞されていました。今年度の越中文化祭も盛況かつ有意義に終えることができました。生徒一人ひとりが主役となり、笑顔があふれ、心に残る文化祭となりました。



校長室から

少しずつ木々の紅葉が進み、秋の深まりを感じる時期になりました。秋は気候的に過ごしやすく読書に最適の季節です。

先日、明治大学文学部教授 齋藤 孝さんの「読書する人だけがたどり着ける場所」を読んでいたら、まえがきに次のような読書の効果が書かれていました。

読書は「体験」なのです。実際、読書で登場人物に感情移入しているときの脳は、体験しているときの脳と近い動きをしているという話もあります。

体験は人格形成に影響します。あなたもきっと「いまの自分をつくっているのは、こういう体験だ」と思うような体験があるでしょう。

つらく悲しい体験も、それがあったからこそ人の気持ちがわかるようになったり、それを乗り越えたことで強さや自信になったりします。大きな病気になったり命の尊さを感じる出来事があれば、いまこの瞬間を大事に思えるようになるなど、人格に変化をもたらします。

自分一人の体験には限界がありますが、読書で疑似体験をすることもできます。

読書によって、人生観、人間観を深め、想像力を豊かにし、人格を大きくしていくことができるのです。

読書の効果はその他にもあります。読書を行うことで、私たちは様々な言葉や考え方や出会い、語彙力や表現力、読解力を高めることができます。また、知っている言葉や使える言葉が増えることで理解が進み、自分が言いたいことも言語化できるようになります。

10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）は読書週間です。また、読書週間が始まる10月27日は「文字・活字文化の日」に制定されています。学校の図書室や移動図書館「わくわく号」を積極的に利用し、ぜひ興味のある本を探してみましょう。

読書の秋。生徒のみなさんには中学校生活を通して読書習慣を身につけ、読書をすることで得られる楽しさや発見、感動などを感じてほしいと思います。同時に、言葉の力をより一層伸ばし、自分の将来の可能性を最大限に広げてほしいと強く願っています。

